

年頭のごあいさつ

柏門技術士会
会長 小林洋一



新年明けまして、おめでとうございます。

平成 28 年の年頭にあたり、所信を申し上げ、会員の皆様とともに柏門技術士会の今後の活動目標について考えてみたいと思います。

母校では、「アクション・プラン 2030」をベースに三木千壽学長のもと、「国際標準の大学への進化」を目指した取り組みが始まっています。4 月より多くの学科でクォータ制に移行し、そしていよいよ TAP（T：東京都市大学、A：オーストラリア、P：プログラム）が始まります。会員の皆様とともに母校の進化に期待したいと思います。

このような重要な変革期に柏門技術士会として、母校の発展と技術士を目指す在校生、卒業生の皆様方へ微力ながら一助となるよう本会の活動をすすめてまいりたいと思っています。

一、 柏門技術士会の活動は、会員の皆様の母校と本会を想う会費で成り立っています。たくさんの方々の同窓技術士の想いに支えられていることを肝に銘じて、ホームページを通じて活動内容をタイムリーにご報告し、情報の共有化に一層努めてまいります。

一、 本会は発足して早くも 13 年目を迎えます。発足当時は、現役の役員で運営されてきましたが、最近は私を含めて運営委員会のメンバーは還暦を超える役員が増えています。

近い将来を見据えて、若い方々の委員会活動への参加をお願いしたいと思っています。若い方々の新規入会と委員会活動への参加を呼びかけてまいります。

一、 平成 26 年度より、学部生の技術士第一次試験合格者への助成制度を設けました。合格した学部生からの合格体験便りは会報誌でご報告した通りです。

昨年秋に横浜キャンパス環境学部において、技術士制度と在学生在が技術士第一次試験を受験する意義についての説明会を行いました。平成 28 年度は挑戦する在校生が増えるものと期待しています。今年も在学生の技

術士第一次試験受験の意義啓発に努めてまいります。

これからも母校を愛するすべての皆さんとともに、より良い柏門技術士会を目指してまいります。一層のご協力・ご支援を賜りますようお願い致します。
了